※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
教養	(学)入門英語	1	第１～４学年	英語検定４級程度のプリント教材

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習の習慣を身に付け、課題や提出物をしっかりと提出してください。
・基本的な文法事項や単語力を身に付けるために学習を継続して行ってください。
・間違いを恐れず積極的にコミュニケーションを図ろうとしてください。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１～３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりと発音されれば簡単な挨拶や指示、また短い説明文で使われている単語や意味のまとまりを理解することができる。	・簡単な表現を用いて書かれた物語のあらすじや説明文の要点を、挿絵や写真などを参考にして、おおむね理解することができる。	・簡単な自己紹介や挨拶をすることができる。簡単な定型文を使って質問したりすることができる。	・身近な事柄や興味・関心のある事柄について、簡単な単語や語句を用いて、好き嫌いなどの簡単な気持ちを説明することができる。	・聞いたり読んだりした内容について、単語を並べてメモを書くことができる。簡単な表現を用いて自分の気持ちや考えを書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音声や語彙、表現や文法などの理解を深めるとともに、これらの知識を活用し場面や状況に応じて、適切に活用できる力を身に付けている。	日常的な話題について、その情報や考えなどの概要や話し手や書き手の意図を理解し、これらを用いて分かりやすく簡潔に表現し、伝え合う力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深めると同時に、平易な表現を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	LESSON1 色々な挨拶	聞くこと	b:英語圏における様々な挨拶の表現を音声から理解することができる。	ＣＤの聞き取り
		読むこと	a: 簡単な挨拶の仕方や自己紹介の文について理解を深め、これらを適切に活用し英文を理解することができる。	音読

※令和４年度以降入学生用

		書くこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意しながら、挨拶や自己紹介の文を簡潔に書くことができる。	課題の提出
		話すこと（やり取り）	c: ペアワークによって簡単な挨拶や自己紹介を簡潔に行おうとしている。	ペアワークによる活動
	LESSON2 自分のことを伝える	聞くこと	b: 現在形を用いた自分のことを伝える表現を音声から理解することができる。	ＣＤの聞き取り
		読むこと	a: be 動詞と一般動詞の現在形について理解を深め、これらを適切に活用し英文を理解することができる。	音読
		書くこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意しながら、自分のことを伝える文を簡潔に書くことができる。	課題の提出
		話すこと（やり取り）	c: ペアワークによって自分や自分の家族について簡潔に表現しようとしている。	ペアワークによる活動
	LESSON3 相手のことを尋ねる	聞くこと	b: 疑問文を用いた相手のことを尋ねる文を音声から理解することができる。	ＣＤの聞き取り
		読むこと	a: 疑問文 Do you ～について理解を深め、これらを適切に活用し英文を理解することができる。	音読
		書くこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意しながら、相手のことを伝える文を簡潔に書くことができる。	課題の提出
		話すこと（やり取り）	c: ペアワークによって、疑問文を用いて相手のことについて聞き取ろうと簡潔に表現しようとしている。	ペアワークによる活動
	LESSON4 誘ったりお願いしたりする	聞くこと	b:誘ったりお願いしたりする文を音声から理解することができる。	ＣＤの聞き取り
		読むこと	a: Let’s ～ や Shall we ～の表現について理解を深め、これらを適切に活用し英文を理解することができる。	音読
		書くこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意しながら、誘ったりお願いしたりする文を簡潔に書くことができる。	課題の提出
		話すこと（やり取り）	c: ペアワークによって、Let’s ～ や Shall we ～の表現を用いて相手を誘ったりお願いするなど簡潔に表現しようとしている。	ペアワークによる活動
	LESSON5 時や場所を表す言葉	聞くこと	b:時や場所を表す前置詞を用いた文について、音声から理解することができる。	ＣＤの聞き取り
		読むこと	a: 前置詞について理解を深め、これを適切に活用し英文を理解することができる。	音読
		書くこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意しながら、前置詞を用いて時間や場所を表す文を書くことができる。	課題の提出
		話すこと（やり取り）	c: ペアワークによって、時や場所を表す前置詞の表現を用いながら、相手と簡潔にコミュニケーションを図ろうとしている。	ペアワークによる活動
	中間考査			
後期	LESSON6 行っている内容を話す	聞くこと	b: 現在進行形を用いて今行っている事を表現する文について音声から理解することができる。	ＣＤの聞き取り
		読むこと	a: 前置詞（be 動詞＋動詞 ing 形）について理解を深め、これを適切に活用し英文を理解することができる。	音読

※令和４年度以降入学生用

		書くこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意しながら、現在進行形を用いて今行っていることについて書くことができる。	課題の提出
		話すこと（やり取り）	c: ペアワークによって、現在進行形の表現を用いながら、相手に今行っている内容を簡潔に表現しようとしている。	ペアワークによる活動
	LESSON7 何をしているか尋ねる	聞くこと	b:what を用いた疑問文を用いて、相手に何をしているのかなどを尋ねる文について音声から理解することができる。	ＣＤの聞き取り
		読むこと	a: 疑問詞 what について理解を深め、これを適切に活用し英文を理解することができる。	音読
		書くこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意しながら、疑問詞 what を用いて相手に尋ねる疑問文を書くことができる。	課題の提出
		話すこと（発表）	c: ペアワークによって、疑問詞 what の表現を用いながら、相手に今何を行っているかなどを簡潔に尋ねようとしている。	ペアワークによる活動
	LESSON8 できることを伝える	聞くこと	b: 助動詞 can が用いられた文を音声から理解することができる。	ＣＤの聞き取り
		読むこと	a: 助動詞 can について理解を深め、これを適切に活用し英文を理解することができる。	音読
		書くこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意しながら、自分や家族ができることなどを助動詞 can を用いて書くことができる。	課題の提出
		話すこと（発表）	c: ペアワークによって、助動詞 can の表現を用いながら、自分ができることなどについて相手に簡潔に尋ねようとしている。	ペアワークによる活動
	LESSON9 相手にお願いをする	聞くこと	b: Can you ～の表現が用いられた相手にお願いする文を音声から理解することができる。	ＣＤの聞き取り
		読むこと	a: 相手にお願いをする Can you ～?の表現について理解を深め、これを適切に活用し英文を理解することができる。	音読
		書くこと	a: 日本語と英語の語順の違いに注意しながら、助動詞 can を用いて相手にお願いする文を書くことができる。	課題の提出
		話すこと（発表）	c: ペアワークによって、Can you ～?の表現を用いながら、相手にお願いをする文を伝えようとしている。	ペアワークによる活動
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度